

安倍首相3選



発行所
山形新聞社
〒990-8550
山形市旅籠町2-5-12
総合案内 023(622)5271
読者センター 023(622)5666
(平日9時30分～17時30分)
(c)山形新聞社2018

2018年
9月20日
〈木曜日〉

電子
速報版



特別号外

■やまがた
ニュースオンライン
yamagata-np.jp

■携帯・スマホ
yamagata-np.jp
/mobile/



詳しくは山形新聞を
ご覧ください。

自民総裁選 石破氏を破る

任期中の改憲に意欲

自民党総裁選は20日、国会議員票と党員・党友による地方票が開票され、安倍晋三首相(63)が連続3選を決めた。安倍氏は一騎打ちとなった石破茂元幹事長(61)を破った。任期中の憲法改正に向け、秋の臨時国会への党改憲案提出に意欲を示す。総裁任期は2021年9月までの3年間。通算の首相在職日数は19年11月に歴代トップの桂太郎に並び、最長政権を視野に入れる。



自民党総裁選で連続3選を決めた安倍首相
20日午後2時10分、東京・永田町の党本部

安倍氏は国会議員票329票、党員・党友票224票の計553票を獲得。石破氏は国会議員票73票、党員・党友票181票の計254票となった。党所属国会議員が20日午後投票し、地方票と合わせて党本部で開票結果が発表された。今回の総裁選は、安倍氏の9月末の任期満了に伴い実施し、6年ぶりの選挙戦となった。選挙戦で安倍氏は政権の経済や外交の実績を挙げながら「日本の新しい国造りに挑戦したい」と訴えた。憲法9条に自衛隊を明記する改憲案を提唱。デフレ脱却や社会保障制度改革、北朝鮮による日本人拉致問題の解決にも決意を示した。石破氏は地方創生を看板政策にしてアベノミクスの修正を主張した。「官邸の信頼回復」も掲げ、政権批判票の取り込みに全力を挙げたが、届かなかった。総裁選は国会議員票と地方票各405票の計810票で争われた。

購読・試読のお申し込みは▶
フリーダイヤル 0120-81-8040